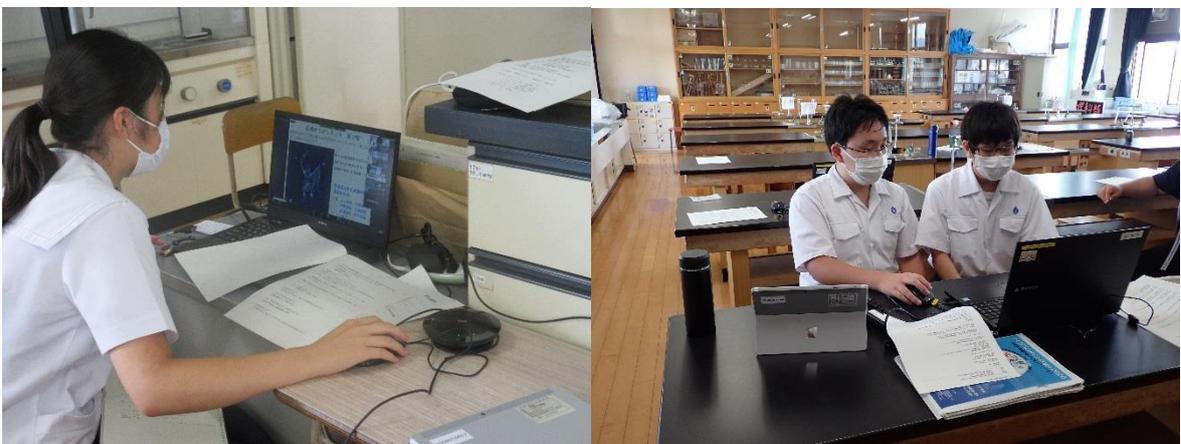


第1回 Science Colloquium for All Nagasaki

7月5日（月）、第1回 Science Colloquium for All Nagasaki を開催しました。これは、生徒が研究成果やアイデアを持ち寄り、発表や情報交換を行うことで新たな視点を獲得するとともに、広く発信することで、県全体の生徒科学研究の活性化を目的としたものです。第1回目の今回は、本校理科部生徒の呼びかけに、佐世保北高校科学部、宇久高校家庭総合部の生徒の皆さんが応える形で実現しました。これら3校は7月に和歌山県で開催される第45回全国高等学校総合文化祭「紀の国わかやま総文 2021」自然科学部門の口頭発表に長崎県代表として出場します。互いの発表を聞き、質疑応答や意見交換を行うことで、それぞれが改善のためのヒントをつかむことができました。

Zoom を用いた遠隔地を結んでの発表会ということで、県教育庁高校教育課 ICT 推進室の先生方にも参観いただき、大変充実した会にすることができました。司会を務めた河原さん（理科部3年）は、「とても緊張しましたが、他校の生徒の発表を聞けたり、相互に質問ができて大変勉強になりました。」という感想を話してくれました。



写真左：コロキウムの座長を務める本校生徒

右：発表する本校生徒